

ゆきの灯り

第38号

令和2（2020）年
3月発行
油木協働支援センター
TEL 82-0701
FAX 82-2228

臨時総会を開催しました 2月25日

来年度からの活動運営体制の見直しに伴い、センター規約の改定を提案したため、臨時総会が開催されました。

提案する】

日時：令和2年2月25日
場所：油木コミュニティセンター 研修室

- ・「役員」にセンター長を加える
- ・「幹事会」の構成員を変更する
- ・「総会」の構成員に「代議員」を加える など

詳しい改定箇所はセンターホームページで確認できます。また規約全文はセンター事務所でも閲覧できます。職員にお声掛けください。

話しやすく、活動しやすい 体制づくりを目指して

○「幹事会」に「各種団体」を積極的に加え、それぞれの団体が行っている活動をより地域に還元しやすくします。

○「幹事会構成員」はそれぞれ「専門部会」に属し、意思決定に至るまでの流れをスムーズにします。

○「総会構成員」に振興会・各種団体より各2名の「代議員」を加え、住民に対し活動をより分かりやすく、参画しやすくします。

「代議員」の役割は、住民としての声を協働支援センターの活動に反映させることです。

みんなの力で
地元を住みやすく

「油木のまち歩き」企画

1月28日のミーティングでは、油木支所の賀井支所長に無理をお願いして、仙養地域を案内して頂きました。地質に変化がある所や仙養石の採石場所、柱状節理が見られていた所など、とても詳しく教えて頂き、チーム一同、普段見慣れているように見過ごし、



また、再度、ストーリーの軸を絞ろうと話合いましたが、いまいち決まらず。残念！次回、先生をお招きして再考します。

「にしかわ」楽しく運営委員会 手作りの2企画 鋭意進行中！

「懐かしの写真展」企画

前回決めた予定通り、選んだ写真をジャンルごとに分けてみると、いちば界限の写真だけでも一度の展示会で収めるにはボリュームがありすぎる事が分かりました。

そこで、ひとまず

展示する場所を検討。「にしかわ」の階段は旧家ならではの急階段です。「二階は無理。一階でないと。」



物の多い一階での実施は、展示の仕方にも配慮が必要です。次回はその『展示の仕方』について話し合う事にしました。

化石魅力化の集い in 「にしかわ」

2月の集いでは「にしかわ」の裏庭にまとめられた状態不明の石の山から化石を選び出す事を、「体験」として実施しました。

これを機にこの不明の石の山を整理したいと思えます。



こんなのもあります。『アツカキ』



3月22日(日)
午後1時30分集合
参加可能な方はお集まりください(手袋持参)

農村環境維持・向上 専門部会

農地維持に必要な労力の軽減を考える
「草刈り」の労力軽減策

2月19日
試験の
実施も



他の専門部会と異なり、農村環境維持・向上専門部会は年に実施する議論の機会を3回と決め、計画的な話の進め方で課題解決に至る方策を検討してきました。

前回までに絞られていた労働力軽減策の内、ラジコン草刈機の導入を検討するにあたり、その有効性を検証する試験を実施することとし、検証ポイントの洗い出しと日取りの設定を行いました。

それにより2月19日に、JA福山市神石高原農機センター、全農ひろ

しま、株中セキ中四国の協力を得て、デモ機2機による検証試験が地区内の田圃法面にて行われました。

検証ポイントは次の通り

- ・使用が容易か
 - ・勾配は何度まで使用可能か
 - ・草の程度はどれ程までか
 - ・燃費
 - ・時間当たりの作業量
 - ・障害物の回避 など
- いずれも経費に見合った労力の軽減効果があるかを検証するためのポイントです。

実施場所に選んだ畦畔の勾配は概ね40度弱。これよりきつい勾配での運転では溝にはまるハブニングもありました。

この日の試験結果を基に、4月に新年度1回目の会議を開き、更なる問題点の洗い出しと持続可能な導入方法について話し合います。

「ゆきなび」専門部会

伝統文化継承事業 神儀チーム

来年度から撮影をスタートします

1月30日「にしかわ」に5人の方に集まって頂き、チームとしての活動を本格的にスタートしました。

まず、このチームは、油木地区の神儀を保存する目的で活動するため、神儀チームと名付けました。

チームリーダーは藤井祥寿さんをお願いしました。

機器もチームの中で出し合い利用していくことになり、来年度どの地域から撮影するか、どう



いちば再生 専門部会

2月3日に行われた会議の議題は、『「にしかわ」の利用状況から空き家の活用について考察する』でしたが、話している内に「いちばの賑わいとは何か」という部分に議論の軸が移っていきましました。

様々な意見が出る中で、最終的には、自分たちは何が出来るのか、と言う話が具体例を伴ってちらほらと現れ始めました。どれも取り掛かるにはそれほどハードルが高くはないものです。

他の専門部会等とも協働し、形になるものがあるかもしれません。

ゆきキッズクラブ

節分の
恵方巻作り



節分を前にした2月1日の料理教室では、巻き寿司を作りました。30人のキッズが参加。班ごとに配られた炊きたてのご飯に寿司酢を混ぜて、寿司飯にしました。具材は炒り卵や卵焼き、切り分けたキュウリ、カニかまなどです。班によって味付けや切り方は違います。一人2枚の海苔を使い巻き寿司を巻きました。



巻き寿司を巻くキッズ

きすなどは限られた数しかないため、低学年から順番に使います。高学年が初めてのキッズにも丁寧に教えていました。

食べた後に、5・6年生は講師や安全管理人と食器などの片付けをしました。

かわいい
ひな飾りが
出来ました



2月15日の楽描き教室では、11人のキッズが千代紙でひな飾りを作りました。

講師の若林佐都子さんが作った雛飾りをお手本にしながら、個性豊かな雛飾りを作りました。

作り終わったら、ハンコで、名前のイニシャルを1文字ずつ探して押ししました。

早く完成したキッズは2つ目を作ったり飾りにこだわったり、時間いっぱい作業をして



雛飾りと一緒に記念撮影

いました。最後にみんなで「うれしいひな祭り」の歌を歌いました。

作業が終わった後には、使った道具の片づけや余った折り紙の回収、ごみ掃除などをキッズが自主的にしてくれました。

団体・サークル紹介 第2回

大正琴 琴成流

平成元年から講師の山本陽子さんを中心に、現在油木6名・豊松4名の方で活動されています。

大正琴の良い点は、両手の指先を使って左右別の動作で演奏するため、脳の老化防止に役立つことや、知っている曲を弾く楽しさがあることです。

2月18日の練習では、3月8日の神石高原町総合文化祭に向けて、「愛の讃歌」と「恋の片道切符」を練習さ



練習の様子

れていました。6月14日には琴成流全体の発表会が神辺文化会館であるそうです。

油木コミュニティセンターで第2火曜日と第4火曜日午後8時より練習されています。

粘土の感触が
楽しかったよ

2月22日はものづくり教室として、16人のキッズが紙粘土で小物入れを作りました。

最初に粘土を粘り気が出るまでよく練りまわした。普通の紙粘土とは違う不思議な感覚にキッズは興味津々といった様子でした。

次に絵の具を粘土に入れ、色を付けました。絵の具が外にこぼれるので、苦戦するキッズも多かったです。その次は粘土を伸ばし、段ボールやペットボトルなどの芯材に粘土



を被せました。大きい芯材に合う様に粘土を伸ばすのに苦戦していました。最後に余った粘土で飾り付けをしました。16人それぞれ、個性豊かな小物入れが出来上がりました。

にしかわだより
薪ストーブの前で

(夏も寄っています。)

今年、「私が生まれてきて一番暖かい」と言うほどの暖冬です。寒さの感じ方は神石高原町に生まれて、そのままここで暮らしてきた私と、関東から来た地域おこし協力隊の人とは違うようです。

松岡さんに「かえりまして」と挨拶を、たまにはおやつを頂き、ほんの10分か15分ですが仕事モードからの切り替えをします。

「寒い寒い」という彼らに「本当の油木の寒さは、こんなもんじゃない」と言いつ毎日です。そんな私も「にしかわ」の薪ストーブが大好きです。仕事終わりの帰り道必ず「にしかわ」に寄り道します。

薪ストーブの前に座りあのゆらゆら揺れる炎を見ていると、風呂焚きをしていた子ども頃の思い出が蘇ります。皆さんも一人でもふらっと「にしかわ」に寄ってみませんか？ ウォームシェアしませんか？

(事務局次長 奥津 照美)

「地域担い手によるシロートン」
公開実証実験

2月27日仙養地域で油木協働支援センターが、実施主体となって進められている「ドローン地産地防プロジェクト」の公開実証実験が行われました。

開会行事の後、災害初動マッピングシステムの実験をしました。地元消防団・自治振興会・地元企業の中から、担い手として5名の

方々が、昨年の夏から操縦技術を学んできた成果として、小型ドローンを使って高度120メートルからの空撮を

行いました。そして、空撮したデータからマッピングを行えることを確認しました。次に、場所を仙養グラウンドに移して、仙養ヶ原ゴルフクラブから中継用ドローンを挟んで、グラウンドまで支援物資を輸送しました。

今後、これらの技術を生かすためにも、担い手のモチベーションが下がる体制を作る努力をし、より身近な所での活用もできる様、意見を出し合える場を整えたいものです。

お気軽にご利用ください

「にしかわ」の『丸鋸』が利用できます。

新割り機に続いて、「にしかわ」に丸鋸を備え付けました。開館時間内であれば自由に利用する事ができます。貸し出しは出来ません。館内の定位置でご利用ください。

原則無料で利用できます。大切にしてください。予約は不要です。空き状況は使用当日にお問い合わせください。木材のみ切断できます。金属類などその他の材料の切断はご遠慮ください(替え



刃の持ち込みも出来ません)
「にしかわ」開館時間
月・水・金(祝日除く)
11時~19時
〈空き状況お問合せ〉
050-53335
-0955
※駐車場は建物の前と後に2力所あります。

油木地域体育協会 ソフトバレー大会

2月8日(土)、油木地域体育協会主催の「令和元年度 油木地域ソフトバレーボール大会」が開催されました。参加したチームは6チーム。参加者は全員で約60名でした。

試合結果は次のとおりです。
優勝：いちばA
準優勝：シニア
第3位：西油木
第4位：城山
第5位：東油木
いちばB

